

平成29年度

第1回水戸市新荘市民センター運営審議会

日 時 平成29年7月3日（月）午後1時30分から

場 所 水戸市新荘市民センター 大会議室

水戸市新荘市民センター

# 水戸市新荘市民センター運営審議会次第

## 1 開 会

## 2 議 題

- (1) 平成29年度運営方針及び重点目標について
- (2) 平成29年度事業計画について
- (3) 平成29年度定期講座の受講生募集状況について
- (4) その他

## 3 閉 会

## (1) 平成29年度 水戸市新荘市民センター運営方針及び重点目標

### 運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

### 重 点 目 標

#### 1 地域コミュニティ活動の推進

##### (1) 地域コミュニティ活動の活性化

(ア) 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援に努めながら、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

(イ) 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

(ウ) 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携しながら、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

(エ) 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

##### (2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等に合わせたコミュニティルームの運営を推進する。

##### (3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

## 2 生涯学習活動の推進

### (1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいつくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた、現代的課題を取り扱った学習機会の提供に努める。

また、市民センターの一般教養講座・教室・クラブ等が市民に親しまれ、生涯学習が市民のライフスタイルに定着し生涯にわたって学び続けることができるような学習機会の提供に努める。

#### (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

#### (イ) 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集を活用しながら、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開するよう努める。

#### (ウ) 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割がある。

これまでのふれあい学級の内容に加え、未就園児や小学校低学年を中心とする家庭教育の支援を強化し、家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し、親の役割、子どもの心の理解、躰など家庭での教育について考え、学び合う家庭教育学級等を開催する。

さらに、茨城県教育委員会が作成発行している「家庭教育ブック」等を活用し、小学校との共催により、就学時健康診断や入学説明会などの機会を捉えた家庭教育講演会を開催し、家庭の教育力向上に努める。

### (2) 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援し、地域内の人材の発掘・育成を行うとともに、地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりに努める。

#### (ア) 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用に努める。

#### (イ) 学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

(ウ) 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

(エ) 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように活かし、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営に努める。

(3) 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上に努める。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分発揮する。

(ア) 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

(イ) 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(2) 平成29年度水戸市新荘市民センター事業計画

区 分	対 象	事 業 名	備考
1 生涯学習事業 定期講座	一 般	39講座(2教室, 37クラブ 5月～3月)  作品展示会(10月～3月)) 常陽銀行末広町支店ロビー 市民センター市民サロン	
2 生涯学習事業 教養講座	地 区 高 齢 者	高齢者学級(6月～11月)6回	
	地 区 女 性	女性学級(5月～11月)5回	
	小学生(保護者含む)	新荘地区こどもエコクラブ(5月～4月)  夏休み子ども教室 親(祖父母)と子の料理教室(7月22日) おもしろ理科教室(8月10日)  夏休み！子ども絵画教室(8月22日・23日)  かるた大会(1月)	
	未就学児の保護者	子育て学習講座(10月)  子どもとの接し方講座(2月)1回  親子のふれあい体験教室 2回  家庭教育講演会(ブロック単位)	
	一 般	教養講座移動学習(12月12日)	
3 コミュニティ活動推進事業	一 般	ユニカール大会(5月21日・2月21日)  新荘夏まつり(7月30日)  市民運動会(10月8日)  歩く会(11月19日)  防災研修(11月28日)  新荘ふれあいまつり(3月4日)  ・定期講座発表会 ・バザー 模擬店	

(3) 平成29年度水戸市新荘市民センター定期講座(教室・クラブ)申込状況

単位:人(7月3日現在)

No.	講座名	定員	継続	新規	合計	No.	講座名	定員	継続	新規	合計				
教 室						17	石州茶道(昼)	20	12	3	15				
K1	1才児親と子の音楽あそび	親子 15組	2組	11組	13組	18	太極拳	30	13	0	13				
K2	2才児親と子の音楽あそび	親子 15組	5組	6組	11組	19	卓球 A	23	18	5	23				
小 計		60	14	34	48	20	卓球 B	24	18	4	22				
ク ラ ブ						21	男子料理	20	9	0	9				
1	いきいきヘルス体操A	50	37	2	39	22	ダンススポーツ	20	12	2	14				
2	いきいきヘルス体操B (男子)	20	12	1	13	23	中国語	20	9	2	11				
3	囲 碁	38	33	0	33	24	手まり A	17	16	1	17				
4	ウォーキング	35	30	3	33	25	手まり B	16	13	2	15				
5	裏千家茶道	20	18	1	19	26	童謡	70	60	10	70				
6	英 会 話	23	17	1	18	27	フォークダンスA	20	14	0	14				
7	絵 て が み	25	19	1	20	28	フォークダンスB	20	12	0	12				
8	歌 謡	25	13	1	14	29	フォークダンスC	20	14	1	15				
9	着 付 け	17	12	5	17	30	ふるさと歴史	30	22	1	23				
10	コ ー ラ ス	25	11	1	12	31	ペン習字	18	12	2	14				
11	古 文 書	20	14	1	15	32	ヨ ー ガ A	25	20	3	23				
12	古文書輪読会	15	8	0	8	33	ヨ ー ガ B	25	24	1	25				
13	山 野 草	15	9	2	11	34	ヨ ー ガ C	25	17	5	22				
14	指 圧	20	14	0	14	35	ヨ ー ガ D	25	21	1	22				
15	刺 し ゅ う	15	7	3	10	36	ヨ ー ガ E	25	24	1	25				
16	書 道	17	11	1	12	37	和 裁	22	19	0	19				
小 計		380	265	23	288	小 計		515	379	44	423				
新規受講者数 101名								合 計				955	658	101	759
継続受講者数 658名															
総受講者数 759名															